

●忘れてないかあの診療

症例研究

●落としてないかその点数

前歯部失活歯に対する充填時の破折防止と前歯部CAD/CAM冠

2020年度診療報酬改定で、前歯部失活歯に対して充填を行う際に、複合レジン（築造用）とファイバーポストを併用して破折防止を行った場合の点数が新設された。また、本年9月から前歯部のCAD/CAM冠が保険収載された。当該点数について、解説する。

患者：22歳・男性

主訴：上の前歯をぶつけて、歯が折れて痛みがある。

所見：歯冠破折あり、露髄を呈している。

傷病名：1|1 歯冠ハセツ、Pul

施設基準：歯初診 補管 CAD/CAM冠 注①

月日	部位	療法・処置	点数
9/4		初診	261
	1 1	X-R a y (D) 1 F 電	58
		歯髄に及ぶ破折線認めるが、歯根破折は認めず。注②	/
		歯管 文 注③	80+10
		抜髄や管理計画を説明し、同意を得る。	/
	1 1	O A + 浸麻 (オーラ注歯科用Ct1.0m l)	/
		ラバーダム 抜髄	230×2
		EMR (1 1 18mm#45、1 1 18mm#45) 注④	30×2
9/11		再診	53
	1 1	自発痛 (-) 打診痛 (-)。	/
		ラバーダム 根充	72×2
		加圧根管充填処置	136×2
		X-R a y (D) 1 F 電	48
		根充良好。根尖まで緊密な根管充填を確認。注⑤	/
9/18		再診	53
	1 1	経過良好。1 1：歯冠部唇側歯質残存。破折防止で	/
		充填時築造用複合レジンとファイバーポスト併用。	/
		1 1：歯質少なくCAD/CAM冠で補綴。同意を得る。	/
	1 1	K P (M P B面)	86
		築造用複合レジン+ファイバーポスト1本	212
		注⑦⑧⑨	/
		充填1 (複雑) E E E B	158
		充填材料料1 (光CR GC MIフィル)	29
	1 1	支台築造 (築造用複合レジン+ファイバーポスト1本)	212
		失P Z (CAD/CAM冠)	636
		連imp (寒天+アルジネート)	64
		歯冠補綴時色調採得検査 A 3 (写真 添付)	10
		B T (パラフィンワックス)	18
		TeC	34
9/25		再診	53
	1 1	CAD/CAM冠 (カタナ®アベンシア®N) 注⑩⑪	1776
		装着料 内面処理加算1 注⑫	45+45
		装着材料料 (スーパーボンド)	17
		補管	100

《解説》

注① 加圧根管充填処置は、クラウン・ブリッジ維持管理料(補管)の施設基準を届出している医療機関において算定できる。また、前歯部CAD/CAM冠も同様に届出が必要である。

注② 画像診断を行った場合は、所見をカルテに記載する。

注③ 患者などに管理計画の内容を文書で提供した場合は、文書提供加算10点を歯科疾患管理料に加算する。カルテには、患者などに提供した文書の写しを添付する。

なお、提供文書以外に療養上必要な管理事項がある場合は、その要点をカルテに記載する。

注④ 電氣的抵抗を応用して根管長測定を行った場合、1歯につき1回に限り、電氣的根管長測定検査(EMR)を算定できる。1根管の場合30点を算定する。検査結果はカルテに記載するか、結果が分かる記録を添付する。

注⑤ 加圧根管充填処置を算定する際には、歯科エックス線撮影で緊密な根充が行われていることを確認する。カルテには、その所見を記載する。

注⑥ 充填1は、歯面処理を行った場合に算定する。歯面処理の費用は所定点数に含まれる。

また、隣接面を含む場合は、充填(複雑なもの)を算定する。

注⑦ 破折防止を目的に、歯冠部の唇側歯質が十分に残存する前歯部失活歯に対して充填する際に、複合レジン(築造用)とファイバーポスト(支台築造用)を用いて築造した場合、支台築造(直接法)の費用を算定することができる。算定対象は、前歯部の失活歯に限られ、歯冠部の唇側歯質が残存している場合となっているので、対象には注意が必要である。

注⑧ 注⑦の場合、ファイバーポストは1歯あたり1本に限り算定できる。

注⑨ ファイバーポストの代わりに、複合レジン(築造用)とスクリーポストを用いた場合でも算定できる。その場合は、147点を算定する。

注⑩ 前歯部のCAD/CAM冠を製作した場合は、1,776点(技術料1,200点+材料料576点)を算定する。レセプトには、「歯冠修復および欠損補綴」欄の「その他」欄に、「歯CAD(IV)1,776点×1」などと記載する。

注⑪ 前歯部用のブロックとして、CAD/CAM冠用材料(IV)を用いる。本材料はエナメル色(切縁部色)とデンティン色(歯頸部色)、及びこれらの移行色(中間色)を含む複数の色調を積層した構造を持っているなどが特徴である。

なお、大白歯と同様に、製品に付属している使用した材料の名称及びロット番号等が記載された文書(シール等)を保存して管理する(カルテに貼付する等)。保存し忘れないよう注意が必要である。

注⑫ CAD/CAM冠を装着する際に、歯質に対する接着力を向上させるため、アルミナ・サンドブラスト処理及びシランカップリング処理などを行った場合は、装着料に対して、内面処理加算1・45点を加算できる。

* 実態に即してご請求ください *